



前回の広報うつのみやプラス「僕らのまちづくり。(令和元年11月号)」に対して12人の市民の皆さんからご意見をいただきました。代表的なものを紹介します。

(1)あなたは日頃、どのようなまちづくり活動を行っていますか。

- ▼宇都宮市民としてだけでなく、それ以外の人たちとも交流し、まちづくり活動をしていく。
互いに情報交換しあって、安心安全な日々が送れるよう努力していく事が大事だと思います。
- ▼観光ボランティア活動、うつのみやシティガイド協会での活動など。地域を勉強し、歴史を踏まえ「まちあるき」をする。(大寛1丁目・70代)
- ▼近所の道路のごみ、ビン、ペットボトルを拾っています。
ポイ捨てにより、道路の空き地や家のそばにごみがたまります。飲み残し、食べた袋などに困っています。
(中戸祭町・70代)
- ▼健全で安心して遊べる公園や、イベント会場を守り育てること。(兵庫塚町・60代)

(2)今後、市民協働のまちづくりをさらに進めていくには、何が必要だと思いますか。

- ▼市民一人ひとりが互いを尊重しあって、助け合いながらまちづくりが進んでいけばいいなと思います。思いやりも大切だと思います。
- ▼担い手である高齢者が病気になるよう、公民館やコミュニティセンターで体操や歌、料理などを行う。みんなで集まって、みんなで話し合っ、元気に希望が持てる場所があればいいなと思います。(中戸祭町・70代)

登録してみてください

まちづくり活動応援事業



まちづくり活動応援事業は、スマートフォンのアプリなどで、いつでもどこでもまちづくり活動を検索でき、活動への応募、参加ポイントの取得までを一元的に行うことができます。さらに、市内の自治会加入者は「自治会加入ポイント」が付きます。左のQRコードからダウンロードしてください。



▲まちづくり活動
応援事業専用 (HP)
URL1

URL1 <https://utsunomiya.karada.live>

前回の広報うつのみやプラス

1021744

「僕らのまちづくり。」の概要



令和の時代のまちづくり活動

これまで経験したことの無い社会の変化に立たされている日本、そして私たちのまち宇都宮。そんな中、まちづくりは、行政だけでなく、地域だけでなく、みんなで協力して取り組んでいくもの。そのためには、まず、私たち一人ひとりが地域のことを考え、参加していくことが不可欠です。

まちづくり活動応援事業スタート

これまで、地域団体からは「ボランティアを募る手段が欲しい」、そして、ボランティア希望者からは「どうすれば参加できるの?」といった声が聞かれていました。そこで、「まちづくり活動応援事業」がスタート。スマートフォンやパソコンを利用して参加できる簡単な仕組みです。

地域団体は、広くボランティアを募ることができ、ボランティア希望者は、身近な活動や自分に合った活動に参加しやすくなります。

「まちづくり活動応援事業」を機に、さらに盛り上がる宇都宮のまちづくり。新しいまちづくりへの行動を今日から始めてみませんか。

広報うつのみやプラス(政策特集)は、皆さんと一緒に考えていただきたいテーマを取り上げ、年に数回編集します。



料金受取人払郵便

宇都宮中央郵便局
承認
0656

3 2 0 8 7 4 0

差出有効期間
2020年8月
15日まで
【切手不要】

(受取人)
宇都宮市旭1丁目1番5号

(宇都宮市役所)
宇都宮市総合政策部広報広聴課

行



3 2 0 8 7 4 0

3

氏名	住所	
年齢	歳	職業

差し支えがなければ記入してください。広報紙で意見を紹介する際には、氏名の記載はしません。なお、はがきの情報については、目的以外には使用しません。